

D I ニュース

薬剤部 薬品情報係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ロコイド軟膏 0.1% 5g
(英名)	LOCOID OINTMENT 0.1% 5g
(規格・含有量)	5g ・ ヒドロコルチゾン酪酸エステルとして 1mg/g
(一般名)	ヒドロコルチゾン酪酸エステル(Hydrocortisone Butyrate)
(メーカー名)	鳥居薬品
【薬価収載日】	2008年 12月
【薬価】	19.90/g
【薬効コード】	872646
【薬効分類名】	外用副腎皮質ホルモン剤
効能・効果	(1)湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ピダール苔癬、脂漏性皮膚炎を含む) (2)痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む) (3)乾癬 (4)掌蹠膿疱症
用法・用量	通常 1日 1～数回適量を塗布する。なお、症状により適宜増減する。
禁忌	①細菌・真菌・スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症、及び動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等) ②本剤に対して過敏症の既往歴のある患者 ③鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 ④潰瘍(ペーチェット病は除く)、第2度深在性以上の熱傷・凍傷
相互作用	—
副作用	重大な副作用 眼圧亢進、緑内障、白内障(眼瞼皮膚への使用) その他の副作用 皮膚の真菌症(カンジダ症、まれに白癬等)、細菌感染症(伝染性膿痂疹、まれに毛のう炎・せつ、汗疹等)があらわれることがある。また、ウイルス感染症があらわれるおそれがある。〔密封法(ODT)の場合に起こり易い〕 長期連用により、酒さ様皮膚炎・口囲皮膚炎(ほほ、口囲等に潮紅、膿疱、丘疹、毛細血管拡張)、ステロイド皮膚(皮膚萎縮、毛細血管拡張、紫斑)、まれにざ瘡様疹が、また多毛及び色素脱失等があらわれることがある

(薬品名)	沈降炭酸カルシウム錠 500mg「三和」
(英名)	Precipitated calcium carbonate
(規格・含有量)	500mg/錠 ・ 沈降炭酸カルシウムとして 500mg/錠
(一般名)	沈降炭酸カルシウム
(メーカー名)	三和化学
【薬価収載日】	2009年 5月
【薬価】	6.10g/錠
【薬効コード】	87219
【薬効分類名】	高リン血症治療薬
効能・効果	保存期及び透析中の慢性腎不全患者における高リン血症の改善
用法・用量	通常、成人には、沈降炭酸カルシウムとして 1日3.0gを 3回に分割して、食直後、経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
禁忌	①甲状腺機能低下患者 ②炭酸カルシウムに対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	①テトラサイクリン系抗生物質・ニューキノロン系抗菌薬 ②ポリスチレンスルホン酸ナトリウム・ポリスチレンスルホン酸カルシウム・キニジン硫酸塩水和物等 ③大量の牛乳 ④活性型ビタミンD剤(アルファカルシドール・カルシトリオール等)
副作用	代謝異常(アルカローシス等の電解質失調、高カルシウム血症)・長期・大量投与(腎結石、尿路結石)・消化器(便秘、下痢、悪心、胃酸の反動性分泌等)・過敏症(搔痒感)・肝臓(ALP上昇、 γ -GTP上昇、LDH上昇、トリグリセライド上昇、AST上昇)
備考	長期投与可能

(薬品名)	アピドラ注ソロスター
(英名)	APIDRA
(規格・含有量)	300 単位/3mL ・ インスリン グルリジンとして 100 単位/mL
(一般名)	インスリン グルリジン
(メーカー名)	サノフィ・アベンティス
【薬価収載日】	2009 年 6 月
【薬価】	2,237.00/筒
【薬効コード】	872492
【薬効分類名】	超速効型インスリンアナログ製剤
効能・効果	インスリン療法が適応となる糖尿病
用法・用量	通常、成人では 1 回 2～20 単位を毎食直前に皮下注射するが、中間型又は持効型溶解インスリン製剤と併用することがある。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、中間型又は持効型溶解インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては通常 1 日 4～100 単位である。
禁忌	①低血糖症状を呈している患者 ②本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者
相互作用	(1) 血糖降下を増強する薬剤 ①ビグアナイド系薬剤 (メトホルミン塩酸塩 プホルミン塩酸塩) ②スルホニルウレア系薬剤 (トルブタミド等) スルホニアミド系薬剤 (グリブゾール) ③速効型インスリン分泌促進剤 (ナテグリニド ミチグリニド) ④ α -グルコシダーゼ阻害剤 (アカルボース ボグリボース等) ⑤インスリン抵抗性改善剤 (ピオグリタゾン) ⑥モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤 ⑦三環系抗うつ剤 (ノルトリプチリン塩酸塩等) ⑧サリチル酸誘導体 (アスピリン エテンザミド) ⑨抗腫瘍剤 (シクロホスファミド水和物) ⑩クマリン系薬剤 (ワルファリンカリウム) ⑪クロラムフェニコール ⑫サルファ剤 ⑬シベンゾリンコハク酸塩 (ジソピラミド ピルメノール塩酸塩水和物) ⑭フィブラート系薬剤 (ベザフィブラート) ⑮レセルピン (2) 血糖降下作用を減弱する薬剤 ①チアジド系利尿薬 (トリクロルメチアジド) ②ループ利尿剤 (フロセミド) ③副腎皮質ステロイド (プレドニゾン トリアムシノロン) ④ACTH テトラコサクチド酢酸塩 ⑤アドレナリン ⑥グルカゴン ⑦甲状腺ホルモン (レボチロキシナトリウム水和物 乾燥甲状腺) ⑧成長ホルモン (ソマトロピン) ⑨卵胞ホルモン (エチニルエストラジオール 結合型エストロゲン) ⑩経口避妊薬 ⑪ニコチン酸 ⑫濃グリセリン ⑬イソニアジド ⑭ダナゾール ⑮フェニトイン ⑯ブセレリン酢酸塩 ⑰フェノチアジン誘導体 (3) 血糖降下作用を増強又は減弱する薬剤 ①蛋白同化ステロイド (メスタノロン) ②オクトレオチド ③ペンタミジンイセチオン酸塩 ④ β -遮断剤 (プロプラノロール塩酸塩 アテノロール ピンドロール セリプロロール塩酸塩等) ⑤炭酸リチウム ⑥クロニジン
副作用	重大な副作用 低血糖・ショック、アナフィラキシー様症状 その他の副作用 眼(糖尿病性網膜症の顕在化又は増悪)、注射部位(発赤、腫脹、掻痒感、リポディストロフィー(皮下脂肪の委縮・肥厚等))
備考	市販直後調査 平成 21 年 6 月～平成 21 年 12 月

(薬品名)	レダコートクリーム 0.1%
(英名)	LEDERCORT CREAM 0.1%
(規格・含有量)	5g ・ トリアムシノロンアセトニドとして 1mg/g
(一般名)	トリアムシノロンアセトニド
(メーカー名)	アルフレッサファーマ
【薬価収載日】	1962 年 10 月
【薬価】	27.30/g
【薬効コード】	872646
【薬効分類名】	合成副腎皮質ホルモン外用剤
効能・効果	(1)湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む) (2)皮膚そう痒症 (3)痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む) (4)虫さされ (5)乾癬 (6)掌蹠膿疱症 (7)紅斑症(多形滲出性紅斑、結節性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑) (8)紅皮症(悪性リンパ腫による紅皮症を含む) (9)皮膚粘膜症候群(ベーチェット病を含む) (10)薬疹・中毒疹 (11)円形脱毛症(悪性を含む) (12)熱傷(瘢痕、ケロイドを含む)

	(13)凍瘡 (14)天疱瘡群 (15)ジューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡を含む) (16)扁平苔癬 (17)毛孔性紅色粗糠疹
用法・用量	通常 1日 2～3回適量を患部に塗布する。なお、症状により適宜増減する。
禁忌	①皮膚結核、単純疱疹、水痘、帯状疱疹、種痘疹 ②本剤の成分に対して重篤な過敏症の既往歴のある患者 ③鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 ④潰瘍(ペーチェット病は除く)、第2度深在性以上の熱傷・凍傷
相互作用	—
副作用	重大な副作用 後囊白内障、緑内障 その他の副作用 皮膚感染症、ざそう用発疹、口囲皮膚炎、ステロイド皮膚、皮膚刺激感、発疹など

(薬品名)	ニゾラルローション 2%
(英名)	NIZORAL LOTION
(規格・含有量)	10g ・ ケトコナゾールとして 20mg/g
(一般名)	ケトコナゾール
(メーカー名)	ヤンセンファーマ
【薬価収載日】	2003年7月
【薬価】	50.50/g
【薬効コード】	872655
【薬効分類名】	外用抗真菌薬
効能・効果	(1)白癬 足白癬:体部白癬、股部白癬 (2)皮膚カンジダ症:指間糜爛症、間擦疹(乳児寄生菌性紅斑を含む) (3)癬風 (4)脂漏性皮膚炎
用法・用量	白癬、皮膚カンジダ症、癬風に対しては、1日1回患部に塗布する。 脂漏性皮膚炎に対しては、1日2回患部に塗布する。
禁忌	本剤の成分に対して過敏症の既往のある患者
相互作用	—
副作用	刺激感 そう痒、接触皮膚炎、紅斑、小水疱 尿蛋白陽性

(薬品名)	クラビット錠 500mg
(英名)	CRAVIT TABLET
(規格・含有量)	500mg/錠 ・ レボフロキサシンとして 500mg/錠
(一般名)	レボフロキサシン水和物
(メーカー名)	第一三共
【薬価収載日】	2009年6月
【薬価】	547.20/錠
【薬効コード】	876241
【薬効分類名】	経口抗菌薬
効能・効果	〈適応菌種〉 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、淋菌、モラクセラ(ブランハマメ)・カタラーリス、炭疽菌、大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、ペスト菌、コレラ菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、レジオネラ属、ブルセラ属、野兔病菌、カンピロバクター属、ペプトストレプトコッカス属、アクネ菌、Q熱リケッチア(コクシエラ・ブルネティ)、トラコーマクラミジア(クラミジア・トラコマティス) 〈適応症〉 表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡(化膿性炎症を伴うもの)、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精巣上体炎(副睾丸炎)、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス、コレラ、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兔病、Q熱
用法・用量	通常、成人にはレボフロキサシンとして1回 500mg(錠 500mg:1錠、錠 250mg:2錠、もしくは細粒 10%:5g)を1日1回経口投与する。なお、疾患・症状に応じて適宜減量する。 腸チフス、パラチフスについては、レボフロキサシンとして1回 500mg(錠 500mg:1錠、錠 250mg:2錠、もしくは細粒 10%:5g)を1日1回14日間経口投与する。
禁忌	①本剤の成分又はオフロキサシンに対し過敏症の既往歴のある患者

	②妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 ③小児等 ただし、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び小児等に対しては、炭疽等の重篤な疾患に限り、治療上の有益性を考慮して投与すること。
相互作用	①フェニル酢酸系又はプロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛薬 痙攣を起こすおそれがある。 ②アルミニウム又はマグネシウム含有の制酸薬等、鉄剤 本剤の効果が減弱されるおそれがある。これらの薬剤は本剤投与から1～2時間後に投与する。 ③ワルファリン ワルファリンの作用を増強し、プロトロンビン時間の延長が認められたとの報告がある。
副作用	重大な副作用 ショック、アナフィラキシー様症状 ショック、アナフィラキシー様症状 中毒性表皮壊死症、皮膚粘膜眼症候群 痙攣 QT 延長 急性腎不全、間質性腎炎 劇症肝炎 汎血球減少症、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少 間質性肺炎、好酸球性肺炎 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 横紋筋融解症 低血糖 アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 錯乱、せん妄、抑うつ等の精神症状 過敏性血管炎
備考	市販直後調査 平成21年6月～平成21年12月

(薬品名)	アスペノン静注用 100
(英名)	ASPENON FOR IV INJ.
(規格・含有量)	100mg/10mL ・ アプリンジン塩酸塩として 10mg/mL
(一般名)	アプリンジン塩酸塩
(メーカー名)	バイエル薬品
【薬価収載日】	2006年12月
【薬価】	974.00/管
【薬効コード】	872129
【薬効分類名】	不整脈治療薬
効能・効果	頻脈性不整脈
用法・用量	本剤は必ず5%ブドウ糖液等で10倍に希釈し、血圧並びに心電図監視下に、通常、成人には希釈液として1回1.5～2.0mL/kg(アプリンジン塩酸塩として1.5～2.0mg/kg)を5～10mL/分の速度で徐々に静脈内注射する。ただし、注入総量は希釈液として1回100mL(アプリンジン塩酸塩として100mg)までとする。
禁忌	①重篤な刺激伝導障害(完全房室ブロック等)のある患者 ②重篤なうっ血性心不全の患者 ③妊婦又は妊娠している可能性のある女性
相互作用	本剤・併用薬の作用増強 ①ジルチアゼム塩酸塩 ②局所麻酔剤(メピバカイン塩酸塩) 本剤の作用増強 ①ジソピラミド ②キニジン硫酸塩水和物 ③メキシレチン塩酸塩 ④アミオダロン塩酸塩
副作用	重大な副作用 痙攣 催不整脈 肝機能障害、黄疸 など

(薬品名)	ユービット錠 100mg
(英名)	UBIT TABLETS 100mg
(規格・含有量)	100mg/錠 ・ 尿素 ¹³ Cとして100mg/錠
(一般名)	尿素 ¹³ C
(メーカー名)	大塚製薬
【薬価収載日】	2002年12月
【薬価】	3,104.00/錠
【薬効コード】	87729
【薬効分類名】	ヘリコバクター・ピロリ感染診断用剤
効能・効果	ヘリコバクター・ピロリの感染診断
用法・用量	通常、成人には、尿素(¹³ C)として100mg(1錠)を空腹時に経口投与する。
禁忌	-
相互作用	-
副作用	過敏症、消化器(腹部膨満感、下痢、心窩部不快感、悪心)、血清カリウム値の上昇

削除医薬品通知

●10月1日より

・ケナコルト A 軟膏 5g	…在庫消尽後
・ケナコルト A クリーム 5g	…在庫消尽後
・炭カル錠「ヨシダ」 500mg	…削除
・カロリールゼリー 6.5g	…削除
・ピルツシンクリーム 10g	…削除
・パントシン注射液 100mg	…削除
・テストパミン注射液 5mg	…削除
・ユービット顆粒分包 100mg	…在庫消尽後

適応追加

ゼローダ錠 300mg

治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌には他の抗悪性腫瘍剤との併用でC法を使用する。

C法

体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後30分以内に1日2回、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

体表面積	1回用量
1.36m ² 未満	1,200mg
1.36m ² 以上 1.66m ² 未満	1,500mg
1.66m ² 以上 1.96m ² 未満	1,800mg
1.96m ² 以上	2,100mg